



【非正規シングルマザー、行き詰まる生活】「シングルマザー支援ニーズ調査」結果を山梨県庁記者クラブで記者発表しました

フードバンク山梨の支援を受けるシングルマザー242人の、暮らしとしごとへのリアルな声（調査結果PDFダウンロード可能）



■調査の目的

食料支援を利用するシングルマザーに対して必要としている支援は何かを調査し、生活状況改善を目標とした今後の支援につなげる。

■調査対象

2024年度に当法人が支援するシングルマザー

■調査方法と回収状況

当法人が運営するLINE公式アカウントを追加している利用者へ周知。

掲載バーコードよりGoogleフォームにて回答を回収。

■調査期間

2024年6月21日～7月16日

■回収状況

調査世帯数446 回収数242 回収率54.2%

アンケートから見えたものは、シングルマザーの「月収15万円未満・キャリアを考える余裕はない・行き詰まる生活」でした。

「融通利く職場で助かるが、最低賃金のパート勤めが続き、生活が苦しい」といった声が数多く寄せられました。

【結果の概要】

低賃金で長時間労働。家事育児すべて抱え、経済的・精神的・肉体的に「ぎりぎり」。

それでも仕事は「やりがい」。

働くシングルマザーが当たり前前に生活・子育てできる社会に。

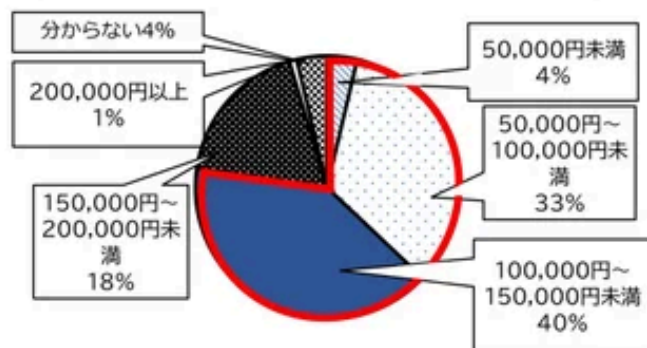
■子どもの数は「2人」が42%。「3人以上」も25%

■「非正規」77%・「週5日勤務」74%・「8時間労働」32%。「月手取り15万円未満」77%

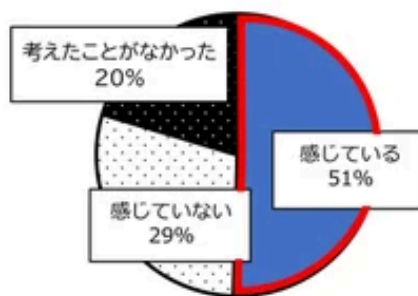
■子どものために休める一方、生活の保障はない

■技能だけでなく、心理的サポートを含む支援が求められる

給与の平均手取り額「150,000円未満」が全体の77%



「今の仕事にやりがいを感じている」が51%と最多



「身につけたいスキル」としてPCスキルへの関心



「収入を上げたい」に次いで「自分の時間が欲しい」



子育て中の方が急な休みを取ることへの理解は広がっていますが、休む分だけ給料が減る、非正規シングルマザーの生活を保障する制度はなく、貧困の世代間連鎖を招く要因にもなっています。

私たちはこの結果を「フードバンク未来アカデミー」（子どもへの学習支援+シングルマザーへのキャリア支援）の一環として、シングルマザーのスキルアップや心理的サポートなどの取り組みに生かします。

多くの方にシングルマザー支援の必要性を知っていただき、取り組みにご協力いただけることを願っています。



認定特定非営利活動法人 フードバンク山梨

所在地：〒400-0203 山梨県南アルプス市徳永1603-1

代表：米山けい子

設立：2008年10月19日

活動内容：「食品ロス」の削減と、余剰食品や寄付食品が必要とするすべての方に届く「福祉」を両輪とした持続可能な地域づくりに取り組んでいます。

担当：高野（たかの） TEL:080-6618-5515

mail: info@fbyama.com

<https://fbyamana.fbmatch.net>

認定特定非営利活動法人フードバンク山梨のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/96284](https://prt看mes.jp/main/html/searchrlp/company_id/96284)